

建設技術審査証明書

[開発目標型]



審査証明第 2151 号

技術名称：パルテム取付管工法

(取付管の修繕工法)

(開発の趣旨)

下水道管さよの取付管は、老朽化による劣化や地震・地盤沈下などによる損傷、継手部のズレなどの支障が生じている。また、これらに起因して、損傷部からの土砂流入等による陥没が発生している。

そこで、このような課題のある管さよを開削せずにライニングし、本管と取付管の接合部を一体化する修繕工法を開発した。従来の取付管修繕工法の多くは、接合部の止水を取付管部ライニングと接合部ライニングの2工程に分けて行っていたが、本工法ではツバ部に塗布した膨潤シーラントにより止水を1工程で行うことを可能とした。

(開発目標)

本技術の開発目標は、次に示すとおりである。

- (1) 施工性：次の各条件下で取付管の施工ができること。
①延長 10 m 以下 ②45度以下の曲管 ③段差 15 mm 以下 ④隙間 50 mm 以下
- (2) 接合部施工性：次の各条件下で本管と取付管の接合部の施工ができること。
①本管と取付管の隙間が 20 mm ②水圧 0.05 MPa、流量 2L/min までの浸入水
- (3) 水密性：ライニング後の本管と取付管の接合部は、0.05 MPa の外水圧および内水圧に耐える水密性を有すること。
- (4) 耐高圧洗浄性：ライニング後の本管と取付管の接合部は、15 MPa の高圧洗浄による剥離・損傷がないこと。
- (5) 耐薬品性：ライニング材は、「下水道内挿用強化プラスチック複合管 (JSWAS K-16)」と同等以上の耐薬品性を有すること。
- (6) 耐摩耗性：ライニング材は、下水道用硬質塩化ビニル管 (新管) と同等以上の耐摩耗性を有すること。
- (7) 耐荷能力：ライニング材は、短期曲げ強さの試験値が 98 MPa 以上、短期曲げ弾性率の試験値が 3,430 MPa 以上であること。

(公財) 日本下水道新技術機構の建設技術審査証明事業 (下水道技術) 実施要領に基づき、依頼のあった「パルテム取付管工法」の技術内容について下記のとおり証明する。

なお、この技術は 2007 年 3 月 2 日に審査証明を取得し、更新された技術である。

2022 年 3 月 16 日

建設技術審査証明事業実施機関

公益財団法人 日本下水道新技術機構

理事長

花本 啓祐



記

1. 審査の結果
上記すべての開発目標を満たしていると認められる。
2. 審査証明の前提
(1) 提出された資料には事実と反する記載がないものとする。
(2) 本技術に使用する材料は、適正な品質管理のもとで製造されたものとする。
(3) 本技術の施工は、標準施工要領に従い、適正な施工管理のもとで行われるものとする。
3. 審査証明の範囲
審査証明は、依頼者から提出のあった開発目標に対して設定した審査方法により確認した範囲とする。
4. 留意事項および付言
本技術の施工にあたっては、標準施工要領に基づいた施工を行うこと。
5. 審査証明の詳細 (建設技術審査証明 (下水道技術) 報告書参照)
6. 審査証明の有効期限 2027 年 3 月 31 日
7. 審査証明の依頼者
芦森工業株式会社 (大阪府摂津市千里丘七丁目 11 番 61 号)
芦森エンジニアリング株式会社 (東京都千代田区岩本町二丁目 6 番 9 号)